

Science Lecture 2021

見えないものが見えてくる！見えかけたはずが、見失う。
ワクワク オヤオヤ フムフムするのが科学です。

科学は私たちの素朴な探究心を満たすだけでなく、技術革新を生み出す力にもなります。北海道大学低温科学研究所は、北海道大学と読売新聞北海道支社との包括連携協定のもと、科学のおもしろさと奥深さをより多くの人達とわかちあうために「サイエンスレクチャー」を開講します。低温科学研究所は、1941年に北海道大学最初の附置研究所として誕生し、寒冷圏および低温環境における自然現象の基礎と応用に関する研究に取り組んでいます。今年設立80周年を迎える記念すべき年、身近な氷とは違う宇宙の氷の世界へ一緒に探索の旅に出かけましょう！

北海道大学 低温科学研究所長 福井 学

宇宙にも氷があるって知ってた？

暗黒星雲に浮かぶ氷微粒子とその役割

地上でありふれた氷は、地球にしか存在しないものでしょうか？ 答えは「いいえ」です。太陽系の地球より外側の惑星や衛星には膨大な氷が含まれていますし、そのさらに外側の宇宙空間には、タバコの煙ほどの大きさの氷微粒子が大量に浮遊していて、太陽系をたまごの殻のように取り囲んでいます。これらの氷はいったい「いつ」「どこで」「どうやって」出来たのでしょうか？ 本講座では、宇宙の極低温領域で初めて形成する氷微粒子の話や、氷微粒子の果たす役割についてわかりやすく説明します。また、宇宙空間の極低温や真空に関する実験も行う予定です。

渡部 直樹 (わたなべ なおき)

北海道大学低温科学研究所 雪氷新領域部門 宇宙雪氷学・宇宙物質科学分野 教授
東京都立大学大学院理学研究科博士課程修了・博士(理学)
極低温の宇宙空間で、分子がどのように、どこまで複雑になりうるかという疑問を、
実験的に解き明かそうとしています。



事前申し込み方法

受講希望者の住所・氏名・性別・電話番号・メールアドレス・年齢・学年・学校名を明記し、右記の連絡先に、はがき・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。10月7日(木)必着とし、10月16日頃までに受講券を郵送しますので、当日、持参してください。なお、応募者多数の場合は抽選となります。

※記載していただく個人情報は受付での参加者の確認やイベント保険への加入など、本イベントの実施に関する用途以外では使用しません。

[連絡先]

〒060-8656 札幌市中央区北4条西4丁目1-8
読売新聞北海道支社 総務部事業内
北大読売連携講座「サイエンスレクチャー」事務局
TEL:011-242-5630 FAX:011-242-3153
e-mail : d-jigyoku@yomiuri.com